

第2回 京都エリア駐車場対策協議会 議 事 概 要

開 催 日：令和6年 9月 3日（火）

時 間：15：00～17：00

場 所：京都国道事務所5F会議室

1. 駐車場予約システム等の構築・運用について

- 事務局より、混雑緩和に向けた全体像や駐車場予約システムの概要等の説明を行うとともに、駐車場事業者との調整状況について報告を行った。委員からの主な意見は以下のとおりであり、頂いた意見を踏まえて検討・調整を進める。
 - 事前予約制を導入するだけでなく、エリア内の満空状況を発信することでうろつき交通が減ると思うので、今後、五条坂や生活道路に進入しないような仕組みを検討して頂きたい。
 - 行動変容の動機付けとして、利用者は事前に混雑状況を確認してもらい、予約システムに遷移する流れが良いのではないかと。混雑への認知は過去の実績でも有効だと思うので、そのような情報との連携についても検討して頂きたい。
 - 車で来ないことが一番であるが、同行者にお年寄りや子供連れがいる等、車で来ざるを得ない人もおられると思うので、そのような方々へ事前予約を推奨する情報発信も考えられる。
 - 今年度の取組みを次に繋げるためには、駐車場予約システムの利用者が便利だと感じてもらうことが重要である。参画事業者の運営方法等も含めて課題を抽出し、利用しやすい環境づくりに繋げてほしい。

2. 効果検証について

- 事務局より、清水周辺における現状の課題や予約システムによる効果を踏まえた効果検証方針等について説明を行った。委員からの主な意見は以下のとおりであり、頂いた意見を踏まえて検討・調整を進める。
 - バスドライバーは五条坂の現地状況を把握した上で運転しているため、信号待ち状況を見ながら五条坂に進入したり、前方間隔を空ける等の対応を取っている。そのため、交通阻害要因を正確に調査した上で適切な対応策を検討して頂きたい。
 - システム運用期間中は、清水坂観光駐車場もバス専用駐車場（完全予約制）となるので、そのような情報も併せて広く周知することで、一般車が予約する動機付けの一つになるのではないかと。各関係機関と連携して周知を図る等、広報戦略の全体像を検討して頂きたい。
 - 予約利用者の予約時間と入出庫時間等から、予約者が駐車場をスムーズに利用できているのかや、問題が発生していないか等、適正利用状況についても検証して頂きたい。
 - 歩行者のはみ出しによる交通阻害等も考えられるので、歩行者による影響も検証して頂きたい。
 - 清水周辺での案内だけでなく、パークアンドライド駐車場への誘導等、清水周辺へ向かう車を段階的に減らすような情報発信についても検討して頂きたい。

3. 今後の進め方について

- 事務局より、駐車場予約システムの運用開始時期等について説明を行った。委員からの主な意見は以下のとおりであり、頂いた意見を踏まえて検討・調整を進める。

- 広報開始のタイミングが事前予約の受付開始と同時になっているが、事前予約の利用を広く周知するためには事前広報も必要ではないか。
- 関係機関からの広報発表や関係する業界団体への予告等、関係各所と協力しながら周知に努めて頂きたい。

4. 意見交換

- 京都市・歩くまち京都推進室および観光 MICE 推進室より、パークアンドライドの推進や観光バス路上滞留対策に関する取組みについて話題提供が行われた。
- 京都大学・宇野教授より、予約システムの検証に係る協力（アンケート調査）について話題提供が行われた。
- 今後、参画駐車場事業者との調整を引き続き進め、各委員への最終的な報告を書面開催で行うことについて諮られ、全会一致で承認された。
 - 路上滞留の啓発については、全国的な組織への要望も含めた情報発信が必要になるので、関係各所の協力をお願いしたい。
 - 観光バスの路上滞留問題に関しては、実態把握や誘導方法等、簡単に解決できない問題でもあるので、課題解決に向けて継続的に議論していく必要がある。